
大学教育学会ニュースレター

No.97 2014.9.18

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局：桜美林大学淵野辺キャンパス内

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

TEL/FAX：(042) 704-7014

郵便振替口座：00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: ungakkai@gmail.com URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会 2014 年度課題研究集会

統一テーマ 「日本社会における大学教育の意義」

2014 年度課題研究集会実行委員長

井上 哲理 (神奈川工科大学)

大学教育学会 2014 年度課題研究集会を、神奈川工科大学 (神奈川県厚木市) にて 11 月 29 日 (土)、30 日 (日) に開催させていただくことになりました。

開催校である神奈川工科大学は、昭和 38 年 (1963 年) に工業高等専門学校からスタートした私立の工科大系大学です。「科学技術立国に寄与する」という建学理念にあるとおり、製造業に技術者として就職していく学生を教育してきました。このような工科大学の役割、教育内容については、高校、大学、社会 (企業) の間で期待や認識の相違はほとんどなかったと言えます。しかし 1990 年代以降の日本の大学環境の大きな地殻変動は、工科大学といえども影響を避けることはできず、日本中のすべての大学と同じように、役割の再考と教育内容の再構築を強く迫られている状況です。

そしていま新たにグローバル化という試練によって、日本中の大学が更なる転換期を迎えようとしています。大学は、学生たちに実のある学習経験を積ませて、創造的で有能な社会人として送り出そうと改革を続けてきました。私たち大学関係者は、日本社会の中で学生たちの実態に即した効果的な教育方法を模索しつつ、その一方で、日本社会の外とつながろうとするグローバル化の新しい現実に対処できる教育内容、方法を模索しなければならないという、ときに相反する目標を突きつけられた状況と言えます。

本課題研究集会では、この認識に立って、現代日本の大学教育の意義を問い直し、学生にとって真に身になる大学教育とは、何をどのように教えることなのか、特に、教養教育は、何をめざし、何をどのように教えることなのかを改めて考えてみたいと思います。

一日目の基調講演では、東京大学の吉見俊哉先生に、「グローバル化する日本社会における大学教育の意義—通過儀式からキャリア・ビジョンへの転換機へ—」と題して、日本の大学が置かれている現状認識と将来展望をお話しいただく予定です。それを受けて、開催校企画シンポジウムでは、「現代日本の『学び』と『教養』教育」と題して、今この時点で、学生たちに気づかせ、身体に刻み込ませたい知と、その「学び」の方法について議論を深めたいと思います。二日目には、3つの課題研究についての発表と討論を予定しています。

多くの会員の方にご参加いただき、活発かつ有益な討論へのご協力をお願いいたします。会場までの交通の便があまり良くなく、ご不便をおかけすることとなりますが、実行委員一同で充実した大会となるよう努力したいと思います。

大学教育学会 2014 年度課題研究集会

実施要項

統一テーマ：「日本社会における大学教育の意義」

主 催：大学教育学会

共 催：神奈川工科大学

期 日：2014 年 11 月 29 日（土）・30 日（日）

会 場：神奈川工科大学 神奈川県厚木市下荻野 1030

【スケジュール】

第 1 日：11 月 29 日（土） 神奈川工科大学 K 3 号館 [5 階 3506 教室]

12:00 13:00 13:30 13:45 14:45 15:00 17:30 17:45
19:15

受付	臨時 総会	開会 挨拶	基調講演	休憩	開催校企画 シンポジウム	移動	情報交換会
----	----------	----------	------	----	-----------------	----	-------

情報交換会場：神奈川工科大学 K 3 号館 [2 階 第 1 食堂]

第 2 日：11 月 30 日（日） 神奈川工科大学 K 3 号館
[5 階 3506 教室、4 階 3404 教室、4 階 3405
教室]

9:00 9:30 12:00 13:00 15:30
16:00

受付	シンポジウム I	昼食	シンポジウム II シンポジウム III	閉会 挨拶
----	----------	----	-------------------------	----------

関連行事

11 月 29 日（土） 9:30～11:30 臨時理事会（代議員総会）[K 3 号館 2 階 3201 教室]

12:00 受付開始 [K3号館1階ロビー]

13:00～13:30 臨時総会 [K3号館5階3506教室]

13:30～13:45 総合司会：井上 哲理（神奈川工科大学）実行委員長
開会行事 [K3号館5階3506教室]
開催大学挨拶 小宮 一三（神奈川工科大学 学長）
学会会長挨拶 小笠原 正明（北海道大学）

13:45～14:45

【基調講演】 [K3号館5階3506教室]

「グローバル化する日本社会における大学教育の意義
ー通過儀式からキャリア・ビジョンの転機機へー」

講演講師 吉見 俊哉（東京大学）
（講演時間に質疑応答を含む）

14:45～15:00 休憩

15:00～17:30

【開催校企画シンポジウム】 [K3号館5階3506教室]

テーマ：「現代日本の『学び』と『教養』教育」

ユニヴァーサル化が進む日本の大学には悩ましい現状がある。学生たちが卒業後に社会で身を立てられるべく、グローバル化を進める社会からの要望に応える普遍的教育を施すと同時に、学生たちの生活実態、知的関心の向きにも配慮した教育を施さなければならない。大学教育の成否は社会の要求に応えつつも、真に学生にとって必要な知的関心を無理なく喚起できるかどうかにかかっていると過言ではない。世界規模の普遍性を学生の等身大の規模に合わせて、彼らにとって現実的意味のある「教養」を身に着けさせるために、大学教育にはどのような工夫が必要なのか、考えてみたい。

まず、認知科学の方法を用いて、グローバル化の進むデジタルな文化的状況における「アナログな沁み込み型学習」の有効性を見直すお話を渡部信一先生（東北大学）にお願いする。さらに、グローバル化が進む一方でポストモダンの状況にある現在にあって、学生たちの実情を踏まえて日本の教養養育が進むべき道を示す古典の意義について藤本夕衣先生（慶應義塾大学）にお話しいただく。そして、最後に、佐々木一也先生（立教大学）から現代日本に求められる「教養」が古典理解によるアナログな認識方法の上に成立することをお話しいただく。討論には吉見先生にもお入りいただき、今この時点で、学生たちに気づかせ、身体に刻み込ませたい知と、その「学び」の方法について議論を深めたいと考えている。

シンポジスト：

渡部 信一（東北大学）

「現場の「学び」と大学教育」

藤本 夕衣（慶應義塾大学）

「グローバル化のなかの『大学』と『学生』ーポストモダニズム以降の『日本』と『古典』ー」

佐々木 一也（立教大学）

「現代日本に必要な『教養』教育の要素」

コメンテーター： 吉見 俊哉（東京大学）

司 会： 山本 聡（神奈川工科大学）、師玉 真理（神奈川工科大学）

17:30～17:45 情報交換会場 [K 3 号館 2 階 第 1 食堂] へご移動ください。

17:45～19:15 情報交換会 [K 3 号館 2 階 第 1 食堂]

第 2 日 11 月 30 日 (日) K 3 号館内

9:00 受付開始 (K 3 号館 1 階ロビー)

9:30～12:00

【シンポジウム I】 [K 3 号館 5 階 3506 教室]

テーマ：「学士課程教育における共通教育の質保証」

本課題研究は、「1. 共通教育における学習成果の直接評価」「2. 数理科学分野における共通教育の質保証」「3. 共通教育における学習成果の間接評価」「4. 共通教育における質保証のためのマネジメント」の 4 つのサブテーマからなる。今回はサブテーマ 4 の全国調査を中心にサブテーマ 4 とサブテーマ 2 から報告する。

岡田報告では、共通教育のマネジメントに関する現状の把握と課題の抽出を目的に、2014 年 4 月～7 月にかけて全国の大学を対象に Web 調査の形で実施した全国調査について報告する。調査では、共通教育に関わる組織構造や組織文化、共通教育における PDCA の各フェイズの機能状況などについて尋ねた。本報告では全国調査のデータ分析に基づき、共通教育におけるマネジメントの現状と課題、マネジメントに影響を与えている要因について結果の概要を示す。また、共通教育において用いられている評価方法の現状、数学的リテラシーの位置づけといった、サブテーマ 1～3 に関わる結果についても検討する。林報告では、サブテーマ 4 を焦点に、山口大学で取り組む直接評価（サブテーマ 1）や間接評価（サブテーマ 3）の導入を通じた実践事例を取り上げ、全国調査結果を踏まえ、組織文化や質保証取組の側面において抽出される実践的課題や今後のマネジメント手法開発のための視点について検討する。高橋報告では、サブテーマ 2 について、学士課程教育における数学的リテラシーの考え方、全国調査の数学的リテラシーについてのヒアリング結果などについて報告する。

企画者：鳥居 朋子（立命館大学）・高橋 哲也（大阪府立大学）・岡田 有司（高千穂大学）

林 透（山口大学）・高野 篤子（大正大学）・深堀 聡子（国立教育政策研究所）

宇野 勝博（大阪大学）・水町 龍一（湘南工科大学）

司会者：山田 礼子（同志社大学）

シンポジスト：

高橋 哲也（大阪府立大学）「本課題研究についての全体説明」

岡田 有司（高千穂大学）「共通教育のマネジメントにおける現状と課題：全国調査の結果から」

林 透（山口大学）「山口大学におけるケーススタディー質保証のためのマネジメントに着目して」

高橋 哲也（大阪府立大学）「学士課程教育における数学的リテラシーの考え方について」

12:00～13:00 昼食休憩 [昼食会場：K 3 号館 2 階 第 1 食堂]

事前にお申込みされたお弁当は、昼食会場で引換券によりお渡しします。

13:00～15:30

【シンポジウム II】 [K 3 号館 4 階 3405 教室]

テーマ：「FD の実践的課題解決のための重層的アプローチ

～重層的 FD のフレームワークと FD 推進者の役割～」

本課題研究の目的は、日本の高等教育機関の現場で生起している様々な FD の課題を、「学生の学習」に焦点をあてて、実践的に解決するための重層的なアプローチを提起しようとするものである。最終年度である本シンポジウムにおいては、3 年間の研究の成果を発表する。

佐藤報告では、これまでの研究の総括として、FD 実践を位置付ける、新しいフレームワークを提示する。ミクロレベル（教授法）、ミドルレベル（カリキュラム）、マクロレベル（制度・組織）のFDを区別すると同時に、各層を分断せず統合するモデルを構築する。

山田報告では、学生、教員そして管理職の間を行き来し、全学的な視野から教育改革を促進するFD推進者(FDer)に焦点を当てて検討を行う。教育改革の過渡期の中でFDを推進してきたFDerとは、どのような存在で、どのような課題に直面し、その中でどのように問題解決をしながら、大学教育の質的向上に寄与してきたのか。そこで求められる資質とはどのようなものなのか。この点を明らかにすることによって、FDerのみならず、各大学でFDを推進する際に必要となる視点や方法を抽出できるのではないかと。

指定討論者には、長らくFDの実践をリードし、本学会におけるFD研究をリードしてきた3名の研究者をむかえ、本研究の総括のための建設的な討議を行う予定である。

企画者：佐藤 浩章（大阪大学）・加藤 かおり（新潟大学）・近田 政博（神戸大学）

沖 裕貴（立命館大学）・山田 剛史（愛媛大学）・井上 史子（帝京大学）

山内 尚子（京都産業大学）

司会者：沖 裕貴（立命館大学）

シンポジスト：

佐藤 浩章（大阪大学）「重層的FDのフレームワーク」

山田 剛史（愛媛大学）「大学教育の実践的課題解決に向けて、FD推進者はどのようにアプローチしてきたのかーFD推進者の生態と可能性ー」

指定討論者：絹川 正吉（国際基督教大学名誉教授）、田中 每実（武庫川女子大学）

他交渉中

【シンポジウムⅢ】 [K 3号館 4階 3404 教室]

テーマ：「発達障害学生への学生支援・大学教育の役割」

障害者差別解消法の2018年4月施行を前に、とりわけ発達障害学生にとって大学の「制度、慣行」などの何が「障壁」となり、その除去に向けて大学はどのような「合理的な配慮」をすべきか、各大学等で検討が進められようとしている。本学会ではあまり議論の対象とならなかった障害学生支援の問題が、実は教育の本質についての省察を迫る可能性を秘めている。そのため本課題研究では、吉武清實・日本学生相談学会前理事長（東北大学、本学会会員）、岩田淳子・同学会研究委員会委員長（成蹊大学）や山中淑江・同学会研修委員会委員長（立教大学、本学会会員）などにも加わっていただき、より広い視野からの丁寧な予備的な研究から始めようとしている。

企画者：青野 透（金沢大学）・大島 啓利（広島修道大学）・片岡 美華（鹿児島大学）

加藤 洋子（首都大学東京）・橋場 論（福岡大学）・望月 由起（お茶の水女子大学）

小川 勤（山口大学）・枝廣 和憲（岡山大学）・山中 淑江（立教大学）

吉武 清實（東北大学）

司会者：青野 透

シンポジスト：

青野 透「発達障害学生支援をめぐる法制とその基本思想についてー本課題研究設定の必然性ー」

小川 勤「『合理的配慮』に対する基本的考え方と学内外組織の連携・協力について」

片岡 美華「障害学生支援において留意すべき点ーライフステージから見える課題」

指定発言：橋場 論（福岡大学）、望月 由起（お茶の水女子大学）

15:30 ~16:00 閉会行事 [K 3号館 4階3403教室]

学会会長挨拶 小笠原 正明（北海道大学）

＜課題研究集会参加申込み要領＞

課題研究集会に参加される方は、以下の要領で1)参加申込みの上、2)参加費等の払込みを行ってください。なお、準備の都合上、事前手続きにご協力ください。事前手続きにより、参加費・懇親会費を割引させていただきます（学生会員以外）。

＜事前手続き＞ 10月31日(金)までにお申込みの上、参加費等の払込みを、11月7日(金)までにお願います（期日厳守）。期日を過ぎて払い込まれた場合、受付で当日申込との差額をいただきます。

1) 参加申込み方法

オンラインで参加申込みをお願いいたします。申込は9月21日（予定）より、本学会 Web サイトのメニューから「大会・集会」→「課題研究集会参加申込」で入力することが可能となります。画面の指示にしたがってお申込みください。

【大学教育学会 URL】 <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

※オンライン申込みの受付後には「申込受付」メールを、申込み時に登録いただいたメールアドレス宛に送信します。「申込受付」を受理されましたら、参加費等の払込みをお願いいたします。

2) 参加費等払込み方法

参加費等は、郵便振替による支払いでお願いします。振込手数料はご本人の負担となります。振替口座は以下のとおりです。参加者1名につき、払込票1枚でご入金ください。会員の方は、同封の「払込取扱票」をご利用いただくと便利です。なお、学会の年会費の郵便払込取扱票とは別になっていますので、ご注意ください。

課題研究集会 郵便振替口座 加入者名：大学教育学会 2014年度課題研究集会 【口座番号】00200-4-73414
--

なお、銀行など他の金融機関からお振込みになる場合は、下記内容をご指定ください。

金融機関名：ゆうちょ銀行 支店名（店番）：〇二九（ゼロニイキュウ）(029)

口座種別：当座、 口座番号：0073414（※振込の際の口座番号桁数が異なります）

口座加入者名：大学教育学会 2014年度課題研究集会

万が一、誤って締め切り後にご入金の場合、課題研究集会当日までに入金を確認できないことがありますので、ご入金時の郵便振替払込請求書兼受領証を必ずご持参ください。

領収書は、当日受付でお渡しします。

【参加費等】（事前払込期日は11月7日(金)です。）

申込み区分	会員・一般		学生 (特別割引)
	事前払込み	当日受付	
参加費（要旨集含む）	5,000円	6,000円	1,000円
情報交換会費	4,000円	5,000円	2,000円
『要旨集』のみ	1部 1,000円（送料込み）		
弁当・お茶（30日昼食）	1,000円		1,000円（事前のみ）

・非会員の方も参加できます。オンライン申込み後、「申込受付」のご連絡時に参加費等をお知らせしますので、郵便局に備え付けの「払込取扱票」により、上記と同様の手続きをしてください。

- ・学生や院生の方々が参加しやすいよう、参加費および懇親会費の特別割引をしています。会員の皆様におかれましては、非会員の学部学生や院生も含め、広く課題研究集会への参加を促していただきますようお願いいたします。また、これを機会に本学会加入呼びかけへのご協力もお願いいたします。
- ・払込みされた参加費等は、理由を問わず返却いたしません。あらかじめご了承ください。
- ・参加費等を払込みながらご欠席の場合は、後日、『要旨集』をお送りします。

※参加申込みとして登録された情報のうち、事前に受付けされた方のお名前と所属機関名は、当日配付する『要旨集』の「参加者名簿」に記載させていただきます。

3) 宿泊について

課題研究集会開催期間は、秋の行楽シーズンにあたり、宿泊施設の予約が困難であると予測されます。会場最寄り駅（本厚木駅）周辺のホテルを一定数の部屋を確保していますので、宿泊を予定されている方は同封の宿泊申込書によりFAXにて下記の旅行代理店へお申込みください。なお、部屋数には限りがありますので早めのお申し込みをお願いいたします。

※宿泊の申込み締切日：2014年11月14日（金）

旅行代理店：(株)神奈川工科大企画パンプキントラベル 電話 046-243-5081 FAX 046-243-5082

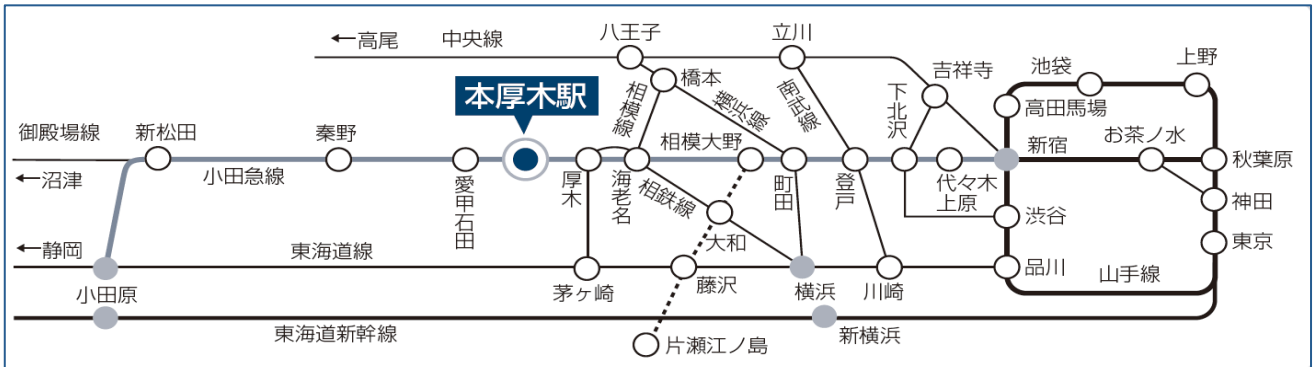
メールアドレス：kait@pumpkintv.co.jp

4) 11月29日(土)・11月30日(日)の昼食

K3号館2階第1食堂を営業しています。また、大学周辺に若干のファミリーレストランやコンビニがあります。なお、弁当は予約分のお渡しのみで、当日販売はありません。

〔会場へのアクセス〕

▼鉄道案内

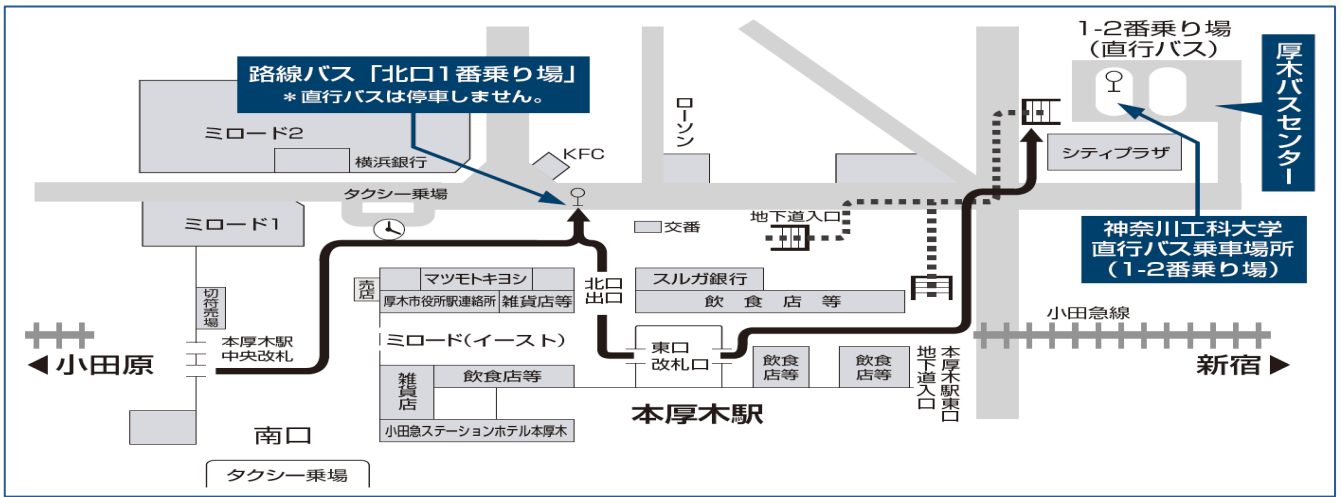


<新幹線の場合>

「小田原」駅から小田急線「本厚木」駅。

「新横浜」駅からJR横浜線「町田」駅へ、小田急線「町田」駅から「本厚木」駅。

▼本厚木駅バス乗車場所



本厚木駅北口より以下ルートをご利用ください。

- ① 厚木バスセンター「1-2番」乗り場から「神奈川工科大学」行に乗車（大学まで直行）
- ② 「北口1番」乗り場から「青年の家」、「神奈川工科大学経由・鳶尾団地」行で「神奈川工科大学前」下車
<時刻表①>

大学までの直行バス（乗車時間／約20分）

厚木バスセンター ⇒ 神奈川工科大学内

	11月29日（土）	11月30日（日）
8時	15 25 35 45 55	10 20 30 40 50 55
9時	05 10	00 05 10 20
10時	15 30 40 45	
11時	10 20 30 40 50	
12時	10 20 30 40 50	
13時	10 20 30	

（運賃／IC：288円、現金：290円）

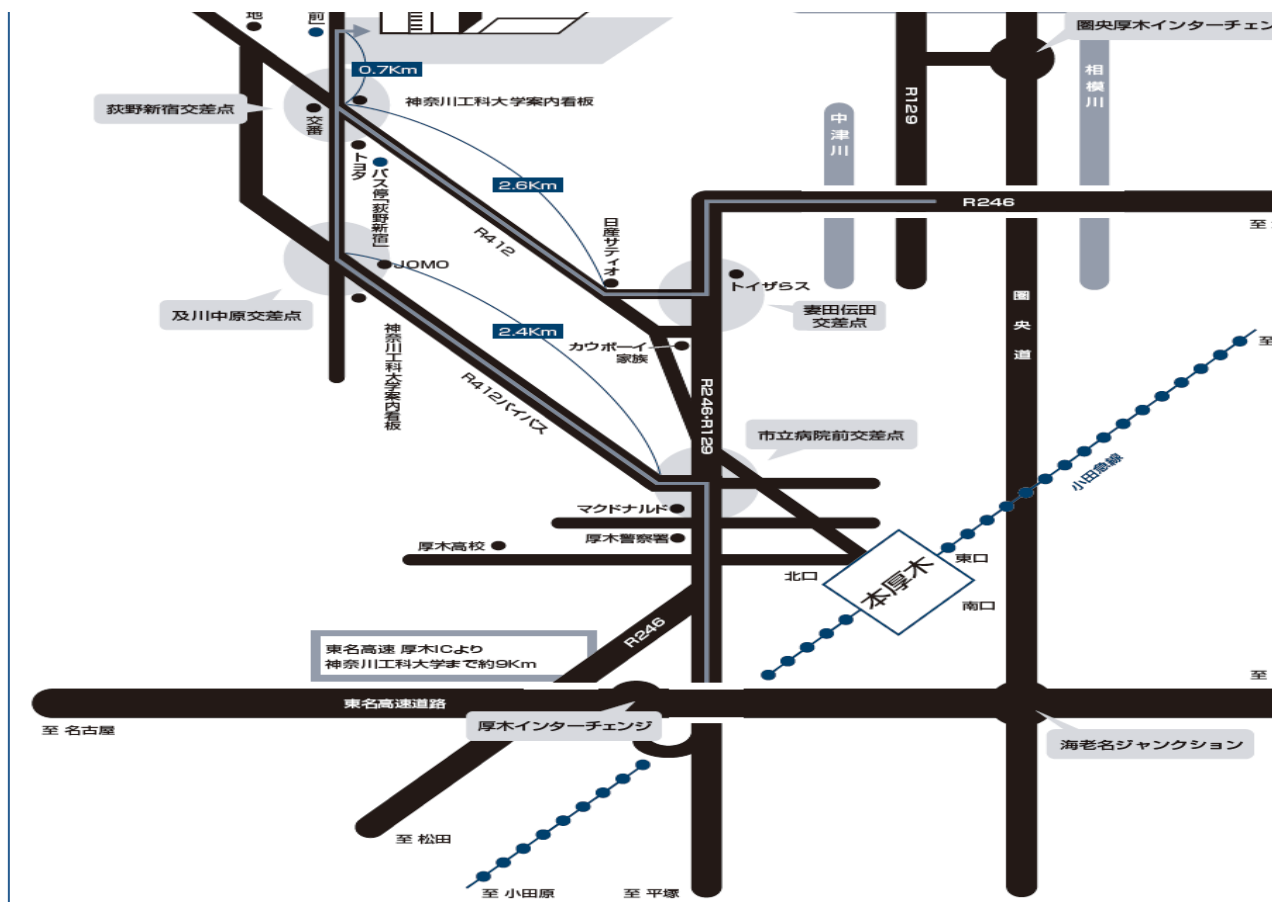
通常の路線バス（乗車時間／約23分）

北口1番乗り場 ⇒ 神奈川工科大学前

	11月29日（土）	11月30日（日）
8時	00 30#	00 30#
9時	00 30#	00 30#
10時	02 32#	01 32#
11時	02 32#	02 32#
12時	02 32#	02 32#
13時	02 32#	02 32#
	無印：青年の家行 #：神奈川工科大学経由・鳶尾団地行	

（運賃／IC：288円、現金：290円）

▼神奈川工科大学 案内図



【2014年度課題研究集会 実行委員会 事務局】

「大学教育学会 2014年度課題研究集会 実行委員会」事務局

神奈川工科大学 教育開発センター

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野 1030

TEL:046-291-3259 FAX:046-291-3260

お問合せ用 E-Mail: edc@kait.jp

= 事務局から =

● 2014年度臨時総会開催について

臨時総会を、11月29日(土)13:00~13:30の予定で、神奈川工科大学(神奈川県厚木市)において開催します。一般社団法人大学教育学会定款案および規則案をご審議いただきますので、万障お繰り合わせの上ご出席下さい。

● 一般社団法人大学教育学会定款案のパブリックコメント募集

本ニュースレターに、「定款案」冊子を同封しております。表紙をご一読の上、学会事務局宛コメントをお寄せください(締切 10月27日(月)必着)。また、定款案冊子を11月29日の臨時総会時にご持参下さい。

● 2014年度課題研究集会について

2014年度課題研究集会は、11月29日(土)・30日(日) 神奈川工科大学(神奈川県厚木市)にて開催予定です。本文内の実施要項等に従いお申し込み下さい。

● 大学教育学会役員選挙について

2015年3月の役員選挙は、原則としてオンライン投票となります。個人会員の皆様に同封の「大学教育学会役員選挙について」をご一読の上、別紙「大学教育学会役員選挙に関する希望調査票」を10月31日(金)必着でご送付下さい。

● 団体会員の制度変更について

2015年度より団体会員の制度が変わる予定です。団体会員・会誌配布団体の皆様に同封の「新しい団体会員の制度について」をご一読下さい。

● 会費納入について

今年度(2014年度)の会費が未納の会員及び過年度の会費・会誌代が未納の会員は、速やかにご入金下さい。領収書については、郵便払込票の受領書をもって替えさせていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金は郵便払込票をご利用下さい。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

<「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先>

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F (株)ガリレオ内

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送る措置をとっております。

2015年大会時の発表申込み(2015年2月下旬を予定)は、2014年度分までの会費が納入済みであることが条件となります。入金状況については、学会ウェブサイトの会員ページ中「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。

※課題研究集会時(11月29日(土)12時~17時、11月30日(日)9時~15時)は、会場に学会事務局の受付を設置し、未納分の会費納入、会誌バックナンバー・学会出版物の頒布等を行いますのでご利用下さい。

● 会員情報更新について

新学期を迎え、ご所属や役職等に変更がある方は、速やかに、学会ウェブサイトの会員ページ中「会員情報の照会・更新」からご自身でご変更下さい。定期刊行物等のお届けが大幅に遅延する場合があります。

● メールマガジンの受信設定について

現在、会員の皆様に年2~3回、大学教育学会メール通信(メールマガジン)を配信していますが、受信拒否や宛先不明を理由に返送されてくるメールが多数あります。学会アドレス ungakkai@gmail.com より送信されるメールを受信できるよう設定をお願いします。

● 大学教育学会第37回(2015年度)大会について

2015年度第37回大会は、2015年6月6日(土)・7日(日)に長崎大学にて開催予定です。スケジュール、ラウンドテーブルや自由研究のお申込みについては次号(NL98号)にてお知らせします。

● 学会関連資料のご寄贈について【アーカイブズ委員会】

特に探究している資料は、以下の通りです。学会事務局まで「着払い」でお送りください。

大会発表要旨集録等(1979,1981,1989,1990,1993,1998,2000~04年)

課題研究集会要旨集(1981,1982,1985~89,1992,1993,1998,2001,2003~05,2008年)

その他、一般教育学会時代の資料についてもご寄贈をお待ちしています。

● 大学教育学会奨励賞2014年度募集について

大学教育学会奨励賞の受賞対象者は本学会会員です。今回の受賞対象は過去4年間の学会誌（第33巻第1号から第36巻第2号まで）に掲載された論文です。応募は自薦・他薦を問いません。

① 提出書類 <自薦>論文、応募者の略歴及び業績一覧、応募理由（研究の意義・成果など1,000字以内）／<他薦>論文、推薦理由（研究の意義・成果など1,000字以内）

② 募集締切 2014年12月15日（月）必着

③ 送付先 学会事務局

なお奨励賞についての詳細は、「大学教育学会奨励賞規程」（本学会ウェブサイトに掲載）をご確認ください。



【学会事務局】

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

桜美林大学 淵野辺キャンパス 3階

Tel/ Fax: 042-704-7014

E-mail: ungakkai@gmail.com

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1丁目24-1 第2ユニオンビル4F (株)ガリレオ内

TEL: 03-5981-9824 FAX: 03-5981-9852

E-mail: g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp